

5 月 9 日：VN 指数はほぼ横ばいで推移 (VN-Index -0.20%)

- 米国とイギリスが貿易交渉で合意し、世界的に投資家センチメントが回復。これを受け、VN 指数は上昇して本日の取引を開始した。
- しかし、その後は目立った買い材料もなく、指数は低調な推移となった。
- 指数が 4 連騰していたことや、昨日 1 % 超の大幅上昇だった反動から、本日は売り方の方が優勢の状態が続いた。
- 保険やメディア、不動産セクターが重しとなった。
- 136 銘柄が上昇、174 銘柄が下落、58 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 10.8% 低下し、17.1 兆ドンとなった。

VN30 指数は辛うじてプラス (VN-30 +0.09%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 8 銘柄が上昇、15 銘柄が下落、7 銘柄が変わらずとなった。
- 特に、LPB (+4.39%) の上昇が指数を持ち上げた。
- 一方、VIC (-2.55%) や PLX (-1.54%) などの昨日ストップ高を記録した銘柄で利益確定の大きな売りが見られた。

セクター・個別株の動き

- LPB (+4.39%) は 2024 年度分の現金配当を 25% の割合で分配する。リストの締め切りは 5 月 20 日で、支払日は 5 月 26 日、1 株当たり 2,500 ドンの配当を分配する。
- MWG (+0.17%) はインドネシア市場における EraBlue チェーンが 100 店舗に到達したと発表。また、同チェーンの累計収益は 1 億 5,000 万ドルを超えた。
- 外国人投資家は 900 億ドンの売り越しとなった。売り越しは VCB (-0.88%) と VHM (0.00%) がトップとなり、FPT (+1.49%) が最も買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。